

## 宍喰小学校で川環境学習を開催しました。

宍喰小学校、4年生 20名を対象に川の水質調査と水生生物の観察を行いました。

### 【実施概要】

日 時：平成 23 年 10 月 12 日（水） 13：50～15：30

場 所：宍喰小学校 4年生教室

参加者：宍喰小学校 4年生 20名

徳島県 南部総合県民局美波庁舎 1名

フジタ建設コンサルタント 3名

内 容：1 川を学ぼう 徳島県  
2 水の汚れの原因（水質実験）（宍喰川と久保川の比較） フジタ建設コンサルタント  
3 水生生物観察（宍喰川と久保川の比較） フジタ建設コンサルタント

感 想：宍喰川がとてもきれいで、たくさんの生き物が棲んでいることが分かりました。

川のよごれは人が作っているのので、いろんなボランティアに参加して川をきれいになりたいです。

河川環境学習にもう一回参加したいと思いました。

### 【活動状況】

○川を学ぼう



宍喰川の自然についての話の後、自分が体験した川遊びについて、たくさんの手が挙がっていました。



また、川と人がどのように関わっているか、そして様々な整備や取り組みが行われていることを学びました。ボランティアで川の掃除に参加している児童もいるなど、日頃から川に親しんで大切にしているようでした。

○「水の汚れの原因」水質測定（パックステスト・透視度測定）

パックステスト(COD 低濃度)の説明を聞き、宍喰川と学校横を流れる久保川の水質測定を行いました。



結果は、宍喰川が2、久保川が4となった児童が一番多く、予想どおり、宍喰川の水質がきれいでした。



透視度測定も宍喰川 130cm、久保川 52～85cm となり、宍喰川の透視度が高い値となりました。



次に身近な食品で生活排水をつくり、パックステスト(COD 高濃度)で水の汚れぐあいと比較しました。ほとんどの児童が最も水を汚すのは焼き肉のタレであると予想しました。実験の結果、牛乳 20 コーンスープ 20 米のとぎ汁 5 しょうゆ 20 ケチャップ 100 焼き肉のたれ 100 と、予想どおりになりました。





○水生生物の観察（宍喰川と久保川の比較）

それぞれの川で生息する水生生物の観察を行い、指標生物による水質階級の判定を行いました。



水槽の生物を観察しながら資料で名前を調べ、記録用紙に記入しました。分からないときはアドバイスをもらうなど熱心に取り組んでいました。



宍喰川はヘビトンボ、カワゲラ類、ガゲロウ類を確認したので、水質階級Ⅰ『きれいな水』と判定しました。久保川はカワニナ、スジエビを確認したので、水質階級Ⅱ『ややきれいな水』と判定しました。



最後に川を汚す原因と川の水をきれいに守っていくために自分たちでできることを学びました。